



令和6年6月28日
内閣府沖縄担当部局

令和6年度北部振興事業の実施について（第3回）

1. 事業の概要

北部12市町村等の要望に基づき、産業の振興、定住条件の整備に資する事業を実施。

2. 今回配分の状況（国費ベース）

非公共事業

(1) 今回配分

継続 8 事業

今回配分額 12.5 億円

(2) 第1回配分事業の計画見直しによる配分額の変更

継続 1 事業

今回減額 △2.2 億円

※詳細は別添資料のとおり

(参 考)

<予算計上>

- 沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業） 令和6年度予算額44.5億円
・補助率：8／10

<今回の配分の考え方>

- 沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。
○配分対象の事業は、北部12市町村から北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

* 問合せ先 *

政策統括官(沖縄政策担当)付
(担当 國武、猪鼻)
電話 03-6257-1693

令和6年度に実施する振興事業について

令和6年6月28日

【非公共事業】

テーマ：産業振興のための整備

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
アーバンスポーツパーク整備事業 (名護市)	令和5年度 ～ 令和6年度	284百万円 (227百万円)
<p>東京オリンピックから種目として採用されたアーバンスポーツは国内においても盛り上がりを見せているが、北部地域はアーバンスポーツ関連施設が僅少であり、大会等を開催できる規模の施設はない。当事業にてスケートボード・BMX、3×3の施設整備を行うことにより、北部地域唯一のアーバンスポーツパークとして、大会、イベント等を誘致し、スポーツコンベンションによる北部地域の観光産業の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>なお、スケートパーク部分の面積は、現時点で2,300㎡を見込んでおり、沖縄県で最大級のスケートパークとなる。</p> <p>(担当省庁) スポーツ庁</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
羽地地域交流拠点整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和8年度	47百万円 (38百万円)
<p>羽地の駅に隣接する仲尾次・真喜屋区間内水面（真喜屋湿地帯）周辺は、美しい羽地内海やマングローブが群生し、珍しい野鳥を見ることができる豊かな自然環境を有し、近年多くの観光客が訪れる古宇利島や本部半島とやんばる三村の世界自然遺産を繋ぐルート上に位置する。名護東道路が開通し、沖縄自動車道を通じた本島中南部からの利便性が向上したことにより、今後北部地域への観光客の流入が見込まれる。</p> <p>そこで、静謐な内海環境を活かす親水護岸や、特定鳥獣保護区を活かした観察デッキ、羽地内海周辺のサイクリングコースで利用できる駐輪場の整備等、羽地内海に面した地の利を活かした拠点施設の整備を進めていくことで、羽地の駅周辺の拠点性と独自性を高め、近隣類似施設との棲み分けと連携を図っていくことにより、羽地地域のみならず北部地域への観光周遊を促し、北部地域全体の経済効果を創出する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
前兼久観光関連施設整備事業 (恩納村)	令和4年度 ～ 令和8年度	125百万円 (100百万円)
<p>恩納村は、沖縄本島北部西海岸に位置し、年間約290万人が宿泊する国内有数のリゾート地である。前兼久漁港は村の海洋観光案内の主要拠点としての役割を担っているが、漁港内には観光客を対象とした駐車場や、その他の利便施設等が整備されていないことから、観光客の増加に伴う漁業活動や地域住民の生活環境への影響、周辺での交通事故の増加などオーバーツーリズムの問題が深刻化している。</p> <p>ついでには、観光客受入基盤の強化のため漁港内に海洋レクリエーション拠点を整備し、観光利用の利便性及び満足度の向上を図るとともに、周辺地域と調和した持続可能で魅力ある観光地を形成する。あわせて、近隣市町村の情報発信を行い、北部地域全体の観光の持続性を高める。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
宜野座村総合体育館機能強化事業 (宜野座村)	令和5年度 ～ 令和6年度	374百万円 (299百万円)
<p>宜野座村は沖縄県の中心に位置しており、交通アクセスの利便性が高いことから、阪神タイガース春季キャンプやカヌー日本代表合宿など、県内外から多種多様なスポーツ合宿や大会の会場として体育施設が利用されている。</p> <p>昭和59年竣工の総合体育館は、これまで維持管理をしながら運用しているが、夏場は沖縄特有の高温多湿な環境により、特に屋内施設には熱がこもりやすく劣悪な環境となっている。また、バスケットボールのワールドカップ事前合宿やトップアスリートの練習会場の利用も含め、空調設備の完備が誘致条件となっているが、北部地域には空調設備を備えた体育館がないため、誘致条件が整っている中南部への受け入れが多く、誘致活動に苦慮している。今後、スポーツコンベンションの誘致に繋げるためにも、空調設備を整備して施設環境を改善し、新たな拠点を創出する事で来訪者の増加を図り、北部地域の産業の振興に寄与する事を目的とする。</p> <p>(担当省庁) スポーツ庁</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
松田地区観光業農業振興事業 (宜野座村)	令和4年度 ～ 令和6年度	214百万円 (171百万円)
<p>宜野座村松田地区は沖縄本島東側に位置しており、自然豊かできれいな海岸が残っていることから、近年リゾートホテルの建設や海洋レジャー等の参入により観光業の中心的な地域として大きな役割を担っている。</p> <p>また、農業は、さとうきびを主体に、野菜・花卉・果樹等が栽培されており、主要な観光拠点施設でもある道の駅「ぎのぎ」で農産物を販売するなど産業振興にも寄与している。</p> <p>一方で、大雨の際には畑の赤土が流出し海岸に到達することが多く、このことが景観の悪化につながり、観光振興の障害となっている。また、赤土の流出は、農業振興の観点からは肥沃な耕土の流出となり、農業生産力の低下の一因となっていることから、海洋環境の改善及び耕土の流出に係る対策が必要である。</p> <p>よって、耕土循環施設を整備し、海洋環境への負担を軽減させるとともに、堆積した赤土を循環させる取組を推進する事で、土壤機能の回復を図り、作物の生産性を維持・向上させ、観光業と農業が連携した持続可能な産業振興を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
伊平屋村米崎海浜公園機能強化整備事業 (伊平屋村)	令和4年度 ～ 令和8年度	385百万円 111百万円 (308百万円) (89百万円)
<p>伊平屋村米崎海浜公園「いへや愛ランドよねざき」は、透明度が高く美しいビーチに囲まれ、海水浴やマリナクティビティといった海洋レジャーに加え、ビーチの目の前でキャンプが楽しめる村内有数の人気観光スポットである。</p> <p>しかし、近年、3密の回避といったコロナウイルス感染症等の社会情勢に起因する価値観の変化や、繁忙期におけるキャパシティ不足、海浜公園特有の塩害等を受け、施設の魅力や利便性の低下がみられることから、観光拠点である米崎海浜公園に所在する施設の改修・新設等により施設機能の強化を行い、安全・安心で持続可能かつ魅力ある観光地形成を図る。</p> <p>当事業によって、ブルーツーリズム・ウェルネスツアー等の新たな体験プログラムの実施が可能となり、利用客の増加に伴う村内の産業振興や、沖縄県北部地域の離島周遊による観光客偏在の解消等を通じて、北部地域全体の発展に寄与するものである。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		
※事業計画の見直しによる配分額の変更(上段:第1回配分時の事業費 下段:変更後の事業費)		

テーマ：定住条件の整備

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
多世代交流施設整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和7年度	64百万円 (51百万円)
<p>名護市では、子育てや家庭に関する相談窓口が市内各地に点在していることから、妊娠・出産、子育てに関する拠点が求められており、また、子どもたちが平日の放課後や土日等、安心・安全に過ごせる居場所が無く課題となっている。</p> <p>このため、本施設を整備することで、子育てや子ども、女性相談に関する相談窓口や相談時や放課後等に子ども達が安心・安全に過ごせる居場所を確保し、子育て支援の強化、子どもの生活環境の向上により、定住人口の増加を図る。</p> <p>併せて、子どもや若い世代と高齢者との交流の促進を図ることで、全ての世代が安心・安全・健康に暮らせる町づくりを実現し、定住条件の向上を目指す。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
くいなエコ・スポレク公園 施設機能強化事業 (国頭村)	令和4年度 ～ 令和8年度	22百万円 (18百万円)
<p>くいなエコ・スポレク公園内にある各種施設においては、プロ野球（日本ハム二軍）のキャンプのほか、県内各種大会（フットサル、グラウンドゴルフ、地域の運動会等）に使用されているが、スポーツ拠点として整備することにより、競技団体やアスリートのニーズに合わせた施設環境の確保を図るとともに、これら施設を通じて、村民とアスリートの交流の場を創出し、北部地域全体のスポーツ意欲・実施率向上等を促進し、地域活性化を図ることにつながる。</p> <p>令和6年度においては、CO2削減及び省エネ化を目的とした、屋内運動場の照明設備の改修（環境配慮型のLED照明設備導入）を行うこととしている。</p> <p>(担当省庁) スポーツ庁</p>		

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和6年度事業費 (うち国費)
伊是名村臨海ふれあい公園 施設機能強化事業 (伊是名村)	令和5年度 ～ 令和6年度	436百万円 (349百万円)
<p>伊是名村臨海ふれあい公園施設の体育館は、定住環境の向上・村民の健康増進、地域活性化などを図る目的として平成9年度に供用開始されて以降、村民同士の交流の場として多くの村民に利用されてきた。また、村祭りやスポーツ大会など、村外の方々との交流の拠点として、これまで様々なイベント等に利活用されてきた。</p> <p>しかしながら、築27年が経過していることから、新たに、館内のスポーツ環境の改善として、屋根材の遮熱対策、高齢者対策として、足や膝にかかる負担の軽減のためのアリーナ床の高弾性・衝撃吸収性床材の更新、省エネ対策としてLED照明化等を行う。</p> <p>今後は、スポーツやイベント・レクリエーションなどを通じた交流の機会が増えることから伊是名村唯一の総合型施設として、安全で快適な交流の場の形成・定住環境の構築を図る。</p> <p>(担当省庁) スポーツ庁</p>		

令和6年度 北部振興事業(非公共)(3次配分)配分事業箇所位置図

